

報道機関 各位

令和4年8月24日（水）

【照会先】 鳥羽市観光課 担当：勢力、村田
三重県鳥羽市鳥羽3-1-1
Tel.0599-25-1157 fax0599-25-1159

アンスティチュ・フランセ関西－京都にて

大野愛子写真展「海女の普遍的世界」の開催について

～自然と共に生きる海女。海女であり写真家の大野愛子氏による海女に関する写真展示～

京都市左京区にあるアンスティチュ・フランセ関西－京都を会場に、令和4年8月27日（土）から9月24日（土）までの期間で大野愛子氏による写真展「海女の普遍的世界」を開催します。

ぜひ取材いただきますようよろしくお願いいたします。

（参考情報① 三重県鳥羽市の紹介）

三重県鳥羽市は、三重県の東端の伊勢志摩地域内に位置し、伊勢湾に面した漁業と観光が盛んなまちです。鳥羽市は、女性が素潜りでアワビなどの水産資源を捕る「海女（あま）」が日本一多く、海女は約2000年以上という長い歴史を持つことから、平成29年には国の重要無形民俗文化財の指定、そして令和元年度には日本遺産の指定を受けるなど、歴史文化的な価値が認められており、地域を象徴する存在となっています。

平成28年にはG7伊勢志摩サミットが伊勢志摩地域を中心に開催されました。鳥羽市においては、真珠養殖の発祥地であるミキモト真珠島を会場に配偶者プログラムが実施されるなど、海女文化を通じて鳥羽の魅力を世界中に発信しました。

また、鳥羽市観光統計資料においてコロナ前の令和元年の外国人入込客数データでは、台湾、香港、中国のアジアに続いてフランスからの来訪が多いことが特徴としてあげられます。



（参考情報② 展示に至るまでの経緯と目的）



②-1 フランス現地での海女文化情報発信など（令和元年度）

令和元年10月10日に鳥羽市長や海女がフランス現地へ訪問し、パリ日本文化会館にて「奇跡の海 La mer miraculeuse」座談会を開催し、PRしました。海女・鳥羽市の認知度向上及び今後のインバウンドにつながることができました（左写真）。

また、フランス・ドイツ公営放送「アルテ」においてドキュメント番組を制作し、放映しました。

②-2 国際交流員の配属と活動（令和3年度～4年度）

令和3年10月には鳥羽市として初めてとなる国際交流員（カゾー ポーリン）がフランスから着任しました。今後のインバウンドの回復を見据え、鳥羽の魅力の情報発信を開始しています（右写真）。国際交流員が着任後、コロナ禍ではあるものの、鳥羽についての情報発信や関係性づくりを行っています。



具体的な活動としましては、SDGsをテーマにフランスの自治体とのオンラインによるセミナーの開催（令和3年11月25日）や、在京都フランス総領事であるジュール・イルマン氏の鳥羽への来訪（令和4年3月15日）、そして令和4年度には、アンスティチュ・フランセ関西 - 京都で実施された屋外イベント「ル・マルシェ」において鳥羽市として初出店し、海藻の販売などを通じて交流や情報発信を行っています（令和4年6月26日）



在京都フランス総領事と市長対談



フランス自治体とのオンライン会議



ル・マルシェへの出店

（参考情報③ フランスの方にとっての海女文化の魅力）

フランス人は 誰も行かないところへ行きたがる傾向があり、海女文化は彼らにとって日本の文化の中で非常に特殊なものです。伊勢志摩では、この大変な仕事を女性、特に年配の女性が担っており、日本女性のステレオタイプなイメージとは対照的な強い個性を持った女性としての憧れがあります。

もう一つの魅力は、海女漁が2000年の歴史を持つ伝統技術であり、代々受け継がれ、今なお守られていることにあります。多くの観光客と同様にフランス人も、こうした環境に配慮した伝統的な技術に敏感です。

他には、フリーダイビングの技術や日本の海の文化も、自国と比較したい、学びたいという好奇心でフランス人を惹きつけています。例えば、ジャック・マイヨールというフランスのフリーダイビングの選手が、フリーダイビングの記録を塗り替えました。あまり知られていませんが、彼は青少年期、佐賀県の海女さんのもとでダイビングを学びました。そのおかげで、彼は自分のテクニックを完成させることができたのです。

最後に、フランス人は、地球温暖化や後継者不足など、現在の海女が直面している課題を知りたがっています。

そしてこの度、フランス政府公式の文化機関であるアンスティチュ・フランセ関西―京都を会場に鳥羽市在住で現役の海女であり、写真家としても活躍する大野愛子氏の海女に関する写真展「海女の普遍的世界」を開催し、海女文化について触れる機会を創出することにより、鳥羽の持つ魅力や歴史文化を発信します。

展示概要

●展示タイトル

大野愛子写真展「海女の普遍的世界」

●展示期間や時間等

令和4年8月27日（土）～令和4年9月24日（土）の10時～19時（火曜日～土曜日）

※日曜日、月曜日、祝日は休みです。

※入場無料

●オープニングイベント

アーティストが展示会場に在廊し、以下の内容でオープニングイベントを開催します。

日時：令和4年9月3日（土）17時～18時頃まで

（17時からアーティストによる展示紹介。17時30分からミニトークイベント開催を予定）

※入場無料および予約不要

●展示会場

アンスティチュ・フランセ関西―京都 1階カフェ、2階廊下

（住所：京都府京都市左京区吉田泉殿町8 電話番号：075-761-2105）

●アーティストプロフィール、コメント



【プロフィール】

海女／フォトグラファー 大野愛子（おおの あいこ）

東京生まれ、鳥羽市在住

1979年生まれ

2002年 東海大学海洋学部水産学科卒業

2005年 東京ビジュアルアーツ写真学科夜間部中退

【主な展示】

「あっちの大木（おんぎ）」

2018.3 東京 三重テラス

2018.7 三重 志摩観光ホテル

2018.7 三重 鳥羽1番街

2018.9 名古屋 堀内カラーフォトギャラリー

2019.9 大阪 阪急百貨店

「石鏡写真展」

2018.7 三重 石鏡神社

グループ展示「自然とともに生きる海女とアーティスト 昔と今。石鏡町と神保町にダイブ！」

2020.7-3 三重 石鏡町内旅館

2021.1-3 三重 鳥羽市立海の博物館ギャラリー

2021.3 東京 ギャラリーそうめい堂、五拾画廊

ゾイ・ポーターコラボ展示「Katugi」

2020.12-2021.1 オーストラリア ブリスベン ワンスペースギャラリー

【アーティストコメント】

2千年前から続く海女は、ずっと素潜りで漁を行ってきました。ウエットスーツや多少道具が新しくなったくらいで、今のスタイルは50～60年前から変わっていないでしょう。海女の仕事、海女の暮らしは多くの人にとっては特殊な世界ですが、海女にとってはそれは普遍なのです。

今回の「海女の普遍的世界」は過去の展示会作品から32点抜粋しました。鳥羽の海の中の様子や、海女の事を伝えられる作品です。明日からまた楽しく過ごせるヒントが、見つかるかもしれません。

●展示作品概要

アーティストが撮影した写真パネル合計32点の展示

●主催

鳥羽市役所観光課

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、内容を変更する可能性があります。

【表面】 写真展概要

大野愛子写真展「海女の普遍的世界」
Exposition de la photographe Aiko Oono「Une plongée dans l'univers d'une ama」

自然と共に生きる海女。海女であり写真家の大野愛子氏による海女に関する写真展示
Les plongieuses ama vivent en harmonie avec la nature. Une exposition photo par la plongeuse ama et photographe Aiko Oono sur ces plongieuses.

2022.8.27(土)～2022.9.24(土)
展示場所:アンスティチュ・フランセ関西-京都 1階カフェ、2階廊下
10時～19時 火曜日～土曜日 ※日曜・月曜・祝日休み 入場無料

Dates : du 27 août au 24 septembre 2022
Horaires : 10h -19h du mardi au samedi, fermé les lundis, les dimanches et les jours fériés

オープニング:9.3(土) **参加費無料、予約不要**
17:00～アーティストによる展示紹介:17:30～ミニトークイベントを開催
Un vernissage aura lieu le samedi 3 septembre à partir de 17h00 suivi d'un échange avec la photographe à 17h30 - événement gratuit et sans inscription*

海女/フォトグラファー 大野愛子 東京生まれ鳥羽市在住
Aiko Oono, photographe et plongeuse ama.
Originaire de Tokyo, elle réside aujourd'hui à Toba, dans la préfecture de Mie.

主催者:鳥羽市役所観光課 TEL0599-25-1157
Organisateur: Mairie de Toba, Division du tourisme TEL 0599-25-1157

京都府京都市左京区吉田泉殿町8
TEL075-761-2105
8 Izumidono-cho Yoshida Sakyo-ku, Kyoto
Tel 075-761-2105

※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容を変更する場合があります。
*le déroulé de l'événement est susceptible d'être modifié selon l'évolution de la situation sanitaire



【裏面】 展示作品の一例

